

第4期郡山市教育振興基本計画審議会キックオフ

委嘱状交付式及び第1回審議会

「教育とウェルビーイング Well-being」

ウェビナー

を開催します

～次の100年のウェルビーイングな教育の実現に向けて



ターゲット 4.1

2024年6月7日

郡山市教育委員会

教育総務部総務課

課長 渡辺 啓一

TEL：924-2428

SDGs ターゲット 4.1 「質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする」

令和7年度から令和11年度の5年間を計画期間とする、第4期郡山市教育振興基本計画の策定に向け、そのキックオフとなる審議会委員の委嘱状交付式及び第1回審議会を開催します。

また、審議会の外部ヒアリングの一環として「教育とウェルビーイング Well-being」ウェビナーを合わせて開催します。

1 委嘱状交付式及び第1回審議会

- (1) 日 時 7月1日(月) 午後1時30分
- (2) 場 所 市役所5-1-1会議室(西庁舎5階)
- (3) 委 員 別紙1のとおり(15名、新任14名、再任1名)
任期：令和6年7月1日から審議終了(令和6年11月予定)まで
- (4) 審議事項 ①会長及び副会長の選任について
②郡山市教育振興基本計画について
③専門分科会について 他

※ 会議の写真及び動画撮影につきましては、議事に入る前までとさせていただきます。その他傍聴に関する事項は、別紙2のとおりです。

2 「教育とウェルビーイング Well-being」ウェビナー

- (1) 日 時 7月1日(月) 午後2時30分～午後4時5分
- (2) 場 所 オンライン(Zoom ウェビナー) ※ 参加無料
- (3) 内 容 ①ウェルビーイングを実現する教育、その重要性和課題についての基調講演
②ウェルビーイングな学校づくりについての事例発表
- (4) 対 象 教育関係者、教育とウェルビーイングに興味がある方
- (5) 申込み 6月30日(日)まで、メール又は申込ウェブサイトからお申込みください。

※ メール：kyoikusomu@city.koriyama.lg.jp

<https://www.task-asp.net/cu/eg/lar072036.task?app=202400399>

申込ウェブサイト
にアクセス
できます。



- (6) 講 師 ①基調講演 ※講師プロフィールは別紙3のとおり

東京大学公共政策大学院 教授

慶應義塾大学政策・メディア研究科 特任教授

ウェルビーイング学会 副代表理事

すずき かん
鈴木 寛 氏



- ②事例発表

埼玉県上尾市立上平小学校 校長

なかじま はるみ
中島 晴美 氏



2024(令和6)年 郡山市は市制施行100周年!!

ひらけ 未来へ こおりやま

郡山市教育振興基本計画審議会委員名簿

(敬称略)

No.	委員氏名	役職等
1	阿部 光浩	私立幼稚園・認定こども園連合会会長 学校法人小原田学園理事長
2	國分 球子	NPO 法人民俗芸能を継承するふくしまの会事務局長
3	鈴木 隆	郡山市家庭教育を支援する会会長
4	鈴木 由佳	お片づけ時短コンサルタント シニアのお片づけコンサルタント
5	高橋 信男	郡山市 PTA 連合会副会長 郡山市立芳山小学校 PTA 会長
6	武村 陽	郡山市いじめ問題対策連絡協議会 委員 福島県弁護士会子どもの権利に関する委員会 人権救済部会長
7	丹治 勇喜	株式会社エフコム R&D 戦略室室長
8	圓谷 円	郡山市行政相談委員 学校法人吉野学園わかば幼稚園 学校心理士
9	中田 スウラ	放送大学福島学習センター所長
10	難波 和生	郡山市小学校長会副会長 郡山市立芳山小学校長
11	箱崎 文子	ユースカレッジ木曜クラブ
12	橋本 勉	福島県特別支援教育センター企画事業部長
13	宗形 潤子	福島大学大学院教職実践研究科長
14	李 莉岩	福島県国際交流協会理事
15	渡辺 宗朋	尚志高等学校副校長

<郡山市教育振興基本計画審議会>

教育基本法第 17 条の 2 及び郡山市教育振興基本計画審議会条例第 1 条の規定に基づき設置しており、「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」として策定する「郡山市教育振興基本計画」について郡山市教育委員会が諮問を行う審議会です。

<今後のスケジュール>

令和 6 年 7 月 31 日 (水)

令和 6 年 8 月～11 月

令和 6 年 11 月～令和 7 年 1 月

令和 7 年 4 月

郡山ユースワークショップ (中学生ワークショップと提言)

学校教育と生涯学習分野の専門分科会 (各 4 回程度)

第 2 回審議会・答申・パブリックコメント等

第 4 期郡山市教育振興基本計画のスタート

傍聴要領

郡山市教育振興基本計画審議会

1 傍聴する場合の手続

- (1) 会議の傍聴を希望する方は、会議の開催予定時刻までに、会場の受付で氏名及び住所を記入し、審議会の会長の許可を受けたうえで、係員の指示に従って会議の会場に入室して下さい。
- (2) 傍聴の受付は先着順で行い、会議の開催予定時刻前であっても定員になり次第終了します。

2 傍聴に当たっての守るべき事項

傍聴人は、会議の傍聴に当たっては、次の事項を守って下さい。

- (1) 会議開催中は、静粛に傍聴すること。
- (2) のぼり、旗、プラカード、鉢巻き、たすき、ゼッケンその他示威のために利用すると認められるものを携帯又は着用しないこと。
- (3) 会議における発言に対して批評を加え、又は拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (4) 談話をし、又は騒ぎたてるなど会議の妨害となるような行為をしないこと。
- (5) 会場において、飲食又は喫煙をしないこと。
- (6) 会場において、写真撮影、録画、録音等を行わないこと。ただし、審議会の会長の許可を得た場合は、この限りでない。
- (7) その他会議の議事運営に支障となる行為をしないこと。

3 会場の秩序維持

- (1) 傍聴人は、会議の傍聴に当たっては、係員の指示に従ってください。
- (2) 傍聴人が、上記2の規定に違反したときは、これを注意し、なおこれに従わないときは、退場していただく場合があります。

＜講師プロフィール＞



【基調講演】鈴木 寛（すずき かん）氏

1964 年生。東京大学法学部卒業後、通産省入省。シドニー大学、山口県庁課長、電子政策課などを経て慶應義塾大 SFC 助教授に就任。NPO 法制定、ボランタリー経済、コミュニティ・ソリューションなどを研究し、卒近代（=GDP 至上主義から卒業し、幸福を再定義し、真の Well-being を追求する時代）の概念提起と卒近代を創る若者育成に邁進。

その後、参議院議員 12 年、文部科学副大臣 2 期、文部科学大臣補佐官を 4 期務める。2014 年東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学政策・メディア研究科教授に就任（日本初の国立・私立クロスアポイントメント、2023 年まで）。

文部科学副大臣として東日本大震災の対応にあたり、GDP 至上主義の問題を痛感、OECD 東北スクールの立ち上げなどにも尽力。OECD 教育スキル局と「個人の Wellbeing と社会の Wellbeing を高めるための教育」の普及を目指す OECD 教育 2030 プロジェクトの立ち上げ、理事を歴任。



【事例発表】中島 晴美（なかじま はるみ）氏

2024 年より現職。「日本の教育とウェルビーイングの未来を考えるシンポジウム」実行委員。日本ウェルビーイング学会所属。IPPA 会員。Happiness Study Academy 在学。ウェルビーイング、道徳科、外国語科研究。

著書『ウェルビーイングな学校をつくるー子どもが毎日行きたい、先生が働きたいと思える学校へ』（教育開発研究所）、共著に『99%の小学生は気づいていない!? ウェルビーイングの魔法』（Z 会）、「最新教育動向」（明治図書）、雑誌執筆に「先端教育」（学校法人先端教育機構）、「教職研修」（教育開発研究所）等多数。

＜ウェルビーイングとは＞

「身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。」とされています。[国の第 4 期教育振興基本計画より(令和 5 年 6 月閣議決定)]



ひらけ 未来へ こおりやま 郡山市は 2024 年に市制施行 100 周年を迎えます

第 4 期郡山市教育振興基本計画 (2025-2029 年度) 審議会

教育とウェルビーイング

Well-being

ウェビナー 2024

一人ひとりのウェルビーイングと「学び」の向上に向けて

基調講演

14:35-15:25
(50min)

「ウェルビーイングを実現する教育
の在り方とは？ 教育をより良くする
ために必要な視点とは？」



すずき かん

鈴木 寛 氏

東京大学公共政策大学院 教授
慶應義塾大学 SFC 特任教授
ウェルビーイング学会 副代表理事

1964 年生。東京大学法学部卒業後、通産省入省。シドニー大学、山口県庁課長、電子政策課などを経て慶應義塾大 SFC 助教授に就任。NPO 法制定、ボランティア経済、コミュニティ・ソリューションなどを研究し、卒近代(=GDP 至上主義から卒業し、幸福を再定義し、真の Well-being を追求する時代)の概念提起と卒近代を創る若者育成に邁進。

その後、参議院議員 12 年、文部科学副大臣 2 期、文部科学大臣補佐官を 4 期務める。2014 年東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学政策・メディア研究科教授に就任(日本初の国立・私立クロスアポイントメント、2023 年まで)。

文部科学副大臣として東日本大震災の対応にあたり、GDP 至上主義の問題を痛感、OECD 東北スクールの立ち上げなどにも尽力。OECD 教育スキル局と「個人の Wellbeing と社会の Wellbeing を高めるための教育」の普及を目指す OECD 教育 2030 プロジェクトの立ち上げ、理事を歴任。

事例発表

15:25-16:05
(40min)

「子どもや教職員、地域のウェルビーイングを高めるには？子どもが毎日行きたい、先生が働きたいと思える学校とは？」



なかじま はるみ

中島 晴美 氏

埼玉県上尾市立上平小学校
校長

2024 年より現職。「日本の教育とウェルビーイングの未来を考えるシンポジウム」実行委員。日本ウェルビーイング学会所属。IPPA 会員。Happiness Study Academy 在学。ウェルビーイング、道徳科、外国語科研究。

著書『ウェルビーイングな学校をつくる一子どもが毎日行きたい、先生が働きたいと思える学校へ』(教育開発研究所)、共著に『99%の小学生は気づいていない! ウェルビーイングの魔法』(Z 会)、『最新教育動向』(明治図書)、雑誌執筆に「先端教育」(学校法人先端教育機構)、「教職研修」(教育開発研究所)等多数。



日 時

7/1 14:30
-16:05

(月曜日)

場 所

オンライン開催

(Zoom ウェビナー開催)

プログラム

14:30-14:35 (5min) 開会・挨拶
14:35-15:25 (50min) 基調講演
15:25-16:05 (40min) 事例発表
16:05 閉会

聴講方法

聴講無料

聴講希望の方は、以下の
メールまたは QR コード
からお申込みください。

お問い合わせ: 郡山市教育委員会事務局 教育総務部 総務課

〒963-8601 福島県郡山市朝日 1-23-7
TEL: 024-924-2421 FAX: 024-935-7834

主催: 郡山市教育委員会

<https://www.city.koriyama.lg.jp/> E-mail: kyoikusomu@city.koriyama.lg.jp

お申込みは
こちらから→

